

1 中期目標4つの目標の達成状況

| 項目     | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 目標値  |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|
| 進路決定率  | 97.8%  | 98.8%  | 98.3%  | 98.8%  | 98.8% | 100% |
| 県内就職率  | 61.2%  | 54.2%  | 55.8%  | 57.8%  | 49.2% | 60%  |
| 科研費採択数 | 67件    | 68件    | 65件    | 65件    | 67件   | 65件  |
| 自主財源比率 | 44.0%  | 43.7%  | 44.7%  | 44.8%  | 44.0% | 44%  |

※平成27年度は第1期中期目標期間

2 中期目標達成に向けた課題と今後の取組

|  |  |
|--|--|
| <p><b>○進路決定率100%を目指す</b></p> <p>各学科、専攻の進路支援プログラムや国家試験対策等の支援体制と並行して、新たにキャリアセンターを設置するなど、就職支援体制を一層強化した結果、毎年度98%以上の高い水準を維持している。</p> <p>今後も、学科・専攻による取組に加え、キャリアカウンセラーによるキャリア相談や就職支援講座等の充実により、きめ細やかな支援を継続することで、進路決定率100%の達成を目指す。</p>  |  |
| <p><b>○県内就職率60%を目指す</b></p> <p>学内説明会の開催など、学生と県内病院等のマッチングを図る取組を進めているが、現在のところ60%は達成できていない。</p> <p>課題として、令和元年度は、県内出身者の約3割が県外に就職している。また、「県内就職に強い意志を有する者」が入試の出願要件となっている推薦入学者の約3割が県外に就職している。</p> <p>今後の対策として、県内病院等とのマッチングを図る取組を充実させるとともに、志望先ごとの面接対策などの就職支援講座やキャリア相談体制を強化することで、令和3年度までに県内就職率60%の達成を目指す。</p> |  |
| <p><b>○科研費採択件数65件を目指す</b></p> <p>平成28年度に設置した研究開発センターを中心に研究体制の整備を進め、科学研究費採択件数は毎年度目標の65件を達成している。</p> <p>今後も、学内研究者の相談・支援を強化することにより、獲得件数の維持や研究レベルの向上を図る。</p>   |  |
| <p><b>○自主財源比率44%以上</b></p> <p>科学研究費助成金、受託事業・研究、国・県補助金などの外部研究資金の獲得、授業料未納者の解消などによる学生納付金の確保、財産貸付や寄附金の募集に努めた結果、平成28年度を除き、中期目標の44%以上を達成している。</p> <p>今後も国、民間団体等の外部資金（補助金等）獲得の取組をさらに強化していく。</p>   |  |

3 第2期中期目標期間中の主な取組

|   |
|---|
| <p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する取組</b></p> <p><b>1 教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育の質を高めるため、高等教育開発センターを設置（令和元年度～）</li> <li>○高校訪問、大学見学の受け入れ等、受験生に対して積極的な広報活動を実施</li> <li>○国の高大接続改革の状況等を踏まえた、入学者選抜についての見直しと検討</li> </ul> <p><b>2 学生への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学年を越えた学生間の交流を図るため、学年間交流を実施（平成28年度～）</li> <li>○国の高等教育無償化制度の開始に合わせて、学生への経済支援制度を再構築（令和元年度）</li> <li>●キャリアセンターを開所し、キャリアカウンセラーによるキャリア相談を拡充（令和元年度～）</li> <li>●県内で活躍する卒業生を招いた就職ガイダンス等の就職支援講座の充実（平成28年度～）</li> <li>○創立20周年記念事業の実施（平成30年度～令和元年度）</li> </ul> <p><b>3 研究</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●研究開発センターを設置し、地域包括ケアのためのプロジェクト研究を実施（平成28年度～）</li> <li>●研究力向上のため、研究推進セミナー等を開催、及び奨励研究費の見直しを適宜実施</li> <li>●科学研究費獲得のため、学内公募説明会兼研修会、個別相談会を開催</li> <li>○地域包括ケアの構築を推進するためのシンポジウム等を開催（平成28年度～）</li> </ul> <p><b>4 地域貢献、産学官連携及び国際交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体等との協定及び覚書書を令和元年度までに15件締結</li> <li>○一般県民向けの公開講座や専門職講座、認定看護師教育、多職種連携などのキャリア教育を実施</li> <li>○自治体の審議会への委員の委嘱、民間企業、行政からの受託研究・共同研究などの実施</li> <li>○大学と産業界とのマッチングイベントのイノベーションジャパンに出展（平成28～30年度）</li> <li>○山西医科大学、香港理工大学、北京大学等と留学生等の相互派遣を実施</li> </ul> |
| <p><b>II 業務運営の改善及び効率化に関する取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●研究開発センターに専任の教授2名と特任助教2名を配置したほか、コーディネーターを設置し、研究活動支援体制を構築（平成29年度～）</li> <li>●大学院研究員制度を創設し、科学研究費申請の支援を実施する体制を構築（令和元年度～）</li> <li>○教員及び事務職員の実績評価の導入、法人固有職員の計画的な採用（平成29年度～）</li> </ul>   |
| <p><b>III 財務内容の改善に関する取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外部研究助成の公募情報の配信や研究力の向上を図るためのセミナーを開催</li> <li>●科学研究費応募に向けた学内公募説明会兼研修会の開催など、獲得に向けた支援【再掲】</li> <li>●学生納付金について、適切な債権管理を行い、令和元年度後期まで収納率100%を達成</li> <li>●外部資金その他の自己収入確保、経費の抑制、資産の運用管理を総合的に実施</li> </ul>   |
| <p><b>IV 自己点検・評価及び当該情報の提供に関する取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大学認証評価の受審（平成30年度）</li> <li>○ホームページをリニューアルし、積極的に情報発信（平成29年度～）</li> </ul>   |
| <p><b>V その他の業務運営に関する取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○エントランスエリアの整備やウッドデッキ等の大規模改修（令和元年度～）</li> <li>○ハラスメント等防止対策研修を実施（平成28年度～）</li> <li>○男女共同参画推進委員会を設置（平成28年度～）</li> </ul> <p>※●は指標関連の取組</p>  |